

血栓形成の3要因を挙げてください。

(, ,)

糖尿病の血管に関する慢性合併症を四つ挙げてください。

(, , ,)

()は動脈が拡張し、()は静脈・毛細血管に血液がうっ滞したものである。

播種性血管内凝固症候群(DIC)では、血管内に多数の()が形成され、重要臓器の血流障害を引き起こす。

また大量の血小板・凝固因子が消費され、()が生じる。

私達が生きていくためには、いろいろな臓器の機能を正常に維持しなければならない。

これを()とよんでいる。

骨盤内の静脈や下肢の静脈などに形成された静脈血栓は右心を通して、

()梗塞を起こす。

心筋梗塞や脳梗塞の多くは、()が破綻し、

そこに()が形成されて血管腔が閉塞することで発症する。

がん自体だけではなく、がん治療に関連した静脈血栓症の頻度も増えてきている。

これらはまとめて、()と呼ばれている。

内臓脂肪蓄積を基盤として、脂質異常症や高血圧などさまざまな病態が合併している状態を

()という。重なって存在すると動脈硬化性疾患を引き起こしやすい、ということを強調している点で重要である。 ※メタボは生活習慣病を発症する前の状態。

タバコを吸う人の気管支上皮が扁平上皮に置き換わる()がみられる。

プログラムされた細胞死を()と言う。

膠原線維は主に()によってつくられる。

子宮頸部の()感染においては、()が起こり、扁平上皮癌の発生母地となる。

膀胱を覆う上皮は()で、食道を覆う上皮は()という。

()のリンパ節は別名ウィルヒョウリンパ節と呼ばれ、胃癌などが遠隔転移するときの代表的なリンパ節である。

乳がんの分子標的治療薬として()というたんぱく質に対するトラスツズマブがある。

新生児や乳児が胎児期に母体から受け取った抗体は()。

ショックによる結果と影響:有効循環血液量が減少し、血圧が低下すると、生体の代償機構として全身の細動脈と毛細血管を収縮させる。この血管収縮は()と()だけには起こらず、脳と心臓の血液循環は維持される。脳と心臓は生命維持にもっとも重要な器官である。

組織が障害されると、その直後に()による一過性の細動脈の収縮が起こり、血流は停滞して、組織に血液がいなくなる。次いで、()などの血管作動性物質によって、細動脈や毛細血管が拡張して()が起こる。

「感染症に対する制御不能な宿主反応に起因した生命を脅かす臓器障害」
この状態は()として定義されている。

生体に刺激が加わった場合、()が起こらないとしたら、例えば生体は細菌を排除できないため、からだ全体が細菌に侵されて死んでしまう。また、()が起こらないと壊れた組織の修復ができないため、傷も治らなくなってしまう。つまり、()とは生体に加わるさまざまな刺激に対する生体防御反応である。

損傷治癒過程の三つの時期

- (期) 滲出液が創にたまる、白血球や組織球などの炎症細胞が反応する
- (期) 創傷周囲の線維芽細胞が活性化する、肉芽組織の形成が促進する
- (期) 創の収縮が起こる、上皮化が起こる

細菌感染で起こるショックは下記のどれか？

- ① 心原性ショック
- ② 閉塞性ショック
- ③ 低容量性ショック
- ④ 血液分布異常性ショック

○×

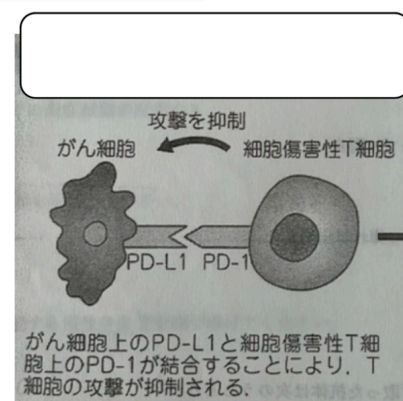
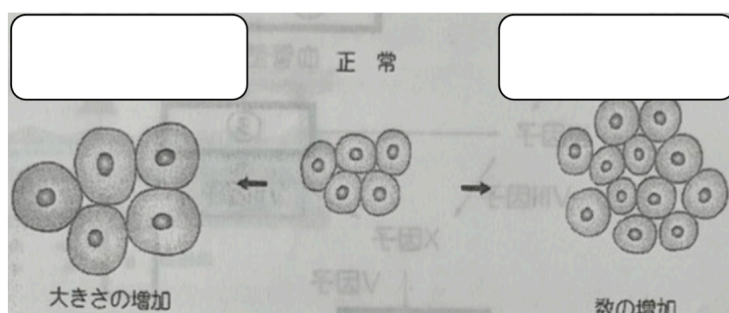
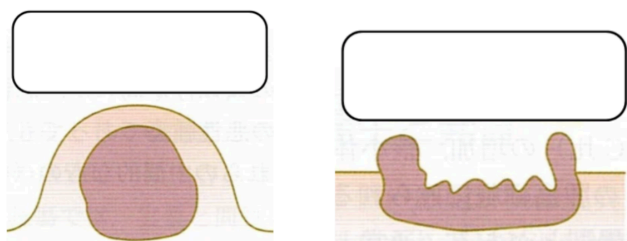
- [] 肺うっ血は、左心不全によって起こる。
- [] 糖尿病は、リンパ球や食細胞の機能低下がみられ、感染症を起こしやすくなる。
- [] 線維素性炎とは、多数の好中球が出現する炎症で、慢性炎症の一種である。
- [] 2型糖尿病はインスリン抵抗性であり、中高年に多い。
- [] 脂肪肉腫は、上皮性の悪性腫瘍である。
- [] 扁平上皮癌は、上皮性の良性腫瘍である。
- [] 大腸菌はグラム陰性桿菌である。
- [] HIVが感染するのはCD8+Tリンパ球である。
- [] インフルエンザウイルスの感染経路は、空気感染である。

炎 症	急 性	慢 性
期 間	短期間(日～週)	長期間(月～年)
発 症	急激	潜行性
湿潤細胞	()	() () () ()
血管変化	() ()	()
滲出、浮腫	()	()
発赤、腫脹、疼痛	()	()
線 維 化	()	()

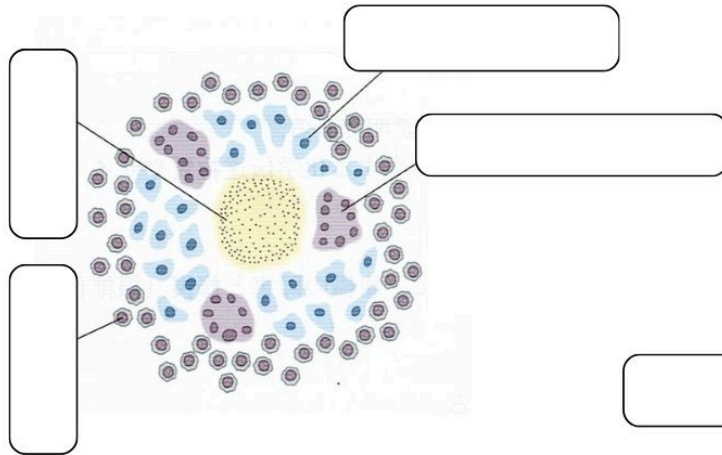
アレルギーの分類

I 型	アレルギー性鼻炎 () ラテックス製手袋を着用直後に唇と手足のしびれが出現した
II 型	血小板減少性紫斑病(自己抗体による血小板破壊)
III 型	全身性エリテマトーデスSLEで見られる()
IV 型	()
V 型	()

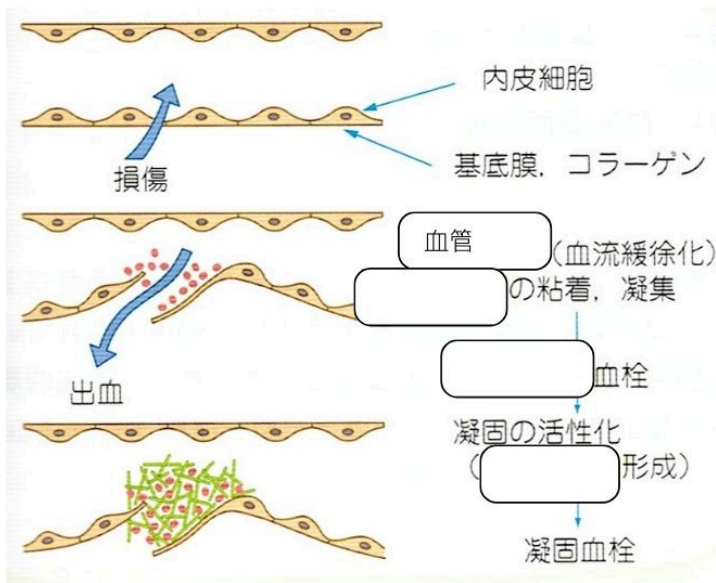
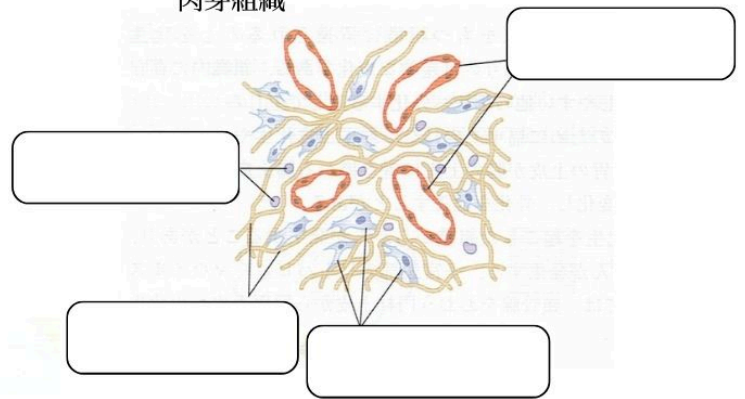
悪性腫瘍だけがとる形態



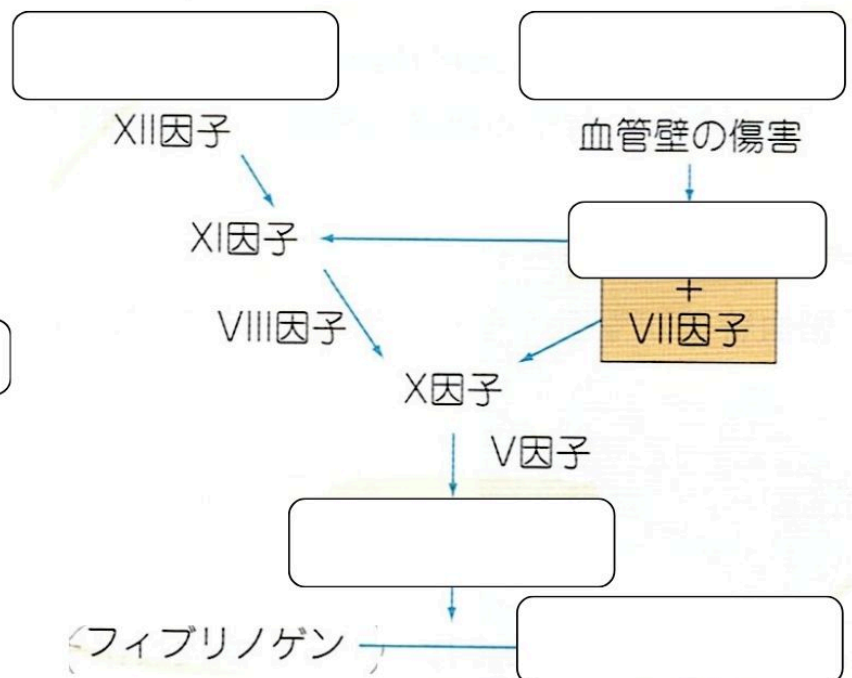
結核結節



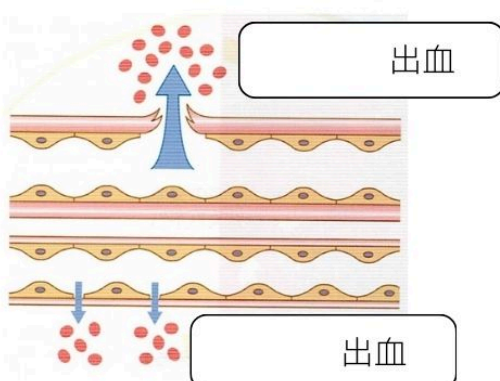
肉芽組織



血液の凝固過程



出血の種類



血栓形成の3要因を挙げてください。

(**血流の停滞** , **血管内皮障害** , **血液凝固能の促進**)

糖尿病の血管に関する慢性合併症を四つ挙げてください。

(**糖尿病性腎症** , **糖尿病性網膜症** , **糖尿病性神経障害** , **動脈硬化**)

(**充血**)は動脈が拡張し、(**うっ血**)は静脈・毛細血管に血液がうっ滞したものである。

播種性血管内凝固症候群(DIC)では、血管内に多数の(**微小血栓**)が形成され、重要臓器の血流障害を引き起こす。

また大量の血小板・凝固因子が消費され、(**出血傾向**)が生じる。

私達が生きていくためには、いろいろな臓器の機能を正常に維持しなければならない。

これを(**ホメオスタシス**)とよんでいる。

骨盤内の静脈や下肢の静脈などに形成された静脈血栓は右心を通して、

(**肺**)梗塞を起こす。

心筋梗塞や脳梗塞の多くは、(**動脈硬化巣**)が破綻し、

そこに(**血栓**)が形成されて血管腔が閉塞することで発症する。

がん自体だけではなく、がん治療に関連した静脈血栓症の頻度も増えてきている。

これらはまとめて、(**がん関連血栓症** / **CAT**)と呼ばれている。

内臓脂肪蓄積を基盤として、脂質異常症や高血圧などさまざまな病態が合併している状態を(**メタボリックシンドローム**)という。重なって存在すると動脈硬化性疾患を引き起こしやすい、ということを強調している点で重要である。 ※メタボは生活習慣病を発症する前の状態。

タバコを吸う人の気管支上皮が扁平上皮に置き換わる(**扁平上皮化生**)がみられる。

プログラムされた細胞死を(**アポトーシス**)と言う。

膠原線維は主に(**線維芽細胞**)によってつくられる。

子宮頸部の(**HPV**)感染においては、(**扁平上皮化生**)が起こり、扁平上皮癌の発生母地となる。

膀胱を覆う上皮は(**移行上皮**)で、食道を覆う上皮は(**重層扁平上皮**)という。

(**左鎖骨上窩**)のリンパ節は別名ウィルヒョウリンパ節と呼ばれ、胃癌などが遠隔転移するときの代表的なリンパ節である。

乳がんの分子標的治療薬として(**HER2**)というたんぱく質に対するトラスツズマブがある。

新生児や乳児が胎児期に母体から受け取った抗体は(**IgG**)。

ショックによる結果と影響:有効循環血液量が減少し、血圧が低下すると、生体の代償機構として全身の細動脈と毛細血管を収縮させる。この血管収縮は(**脳**)と(**心臓**)だけでは起こらず、(**脳**)と(**心臓**)の血液循環は維持される。(**脳**)と(**心臓**)は生命維持にもっとも重要な器官である。

組織が障害されると、その直後に(**セロトニン** / **交感神経反射**)による一過性の細動脈の収縮が起こり、血流は停滞して、組織に血液がいなくなる。次いで、(**ヒスタミン**)などの血管作動性物質によって、細動脈や毛細血管が拡張して(**充血**)が起こる。

「感染症に対する制御不能な宿主反応に起因した生命を脅かす臓器障害」
この状態は(**敗血症**)として定義されている。

生体に刺激が加わった場合、(**炎症**)が起こらないとしたら、例えば生体は細菌を排除できないため、からだ全体が細菌に侵されて死んでしまう。また、(**炎症**)が起こらないと壊れた組織の修復ができないため、傷も治らなくなってしまう。つまり、(**炎症**)とは生体に加わるさまざまな刺激に対する生体防御反応である。

損傷治癒過程の三つの時期

- (**滲出期**) 滲出液が創にたまる、白血球や組織球などの炎症細胞が反応する
- (**増殖期**) 創傷周囲の線維芽細胞が活性化する、肉芽組織の形成が促進する
- (**形成期**) 創の収縮が起こる、上皮化が起こる

細菌感染で起こるショックは下記のどれか？

- ① 心原性ショック
- ② 閉塞性ショック
- ③ 低容量性ショック
- ④ 血液分布異常性ショック ←○

○×

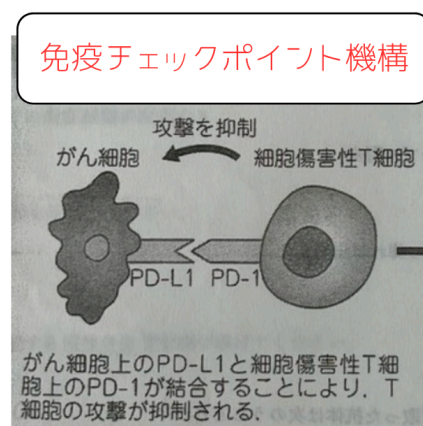
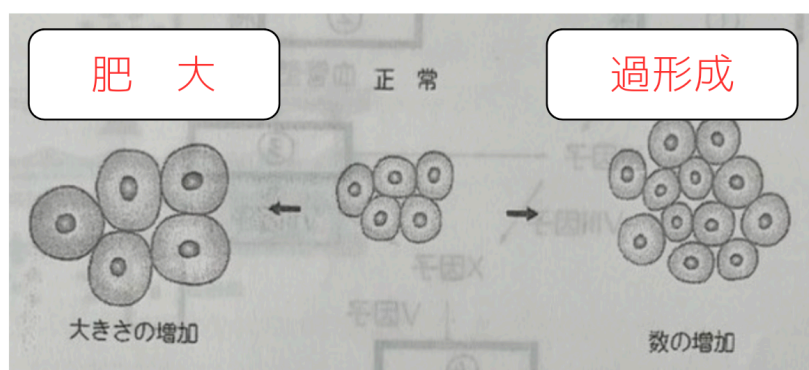
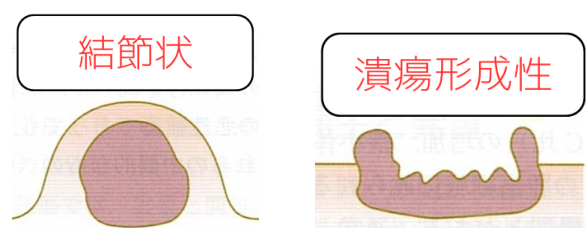
- [○] 肺うっ血は、左心不全によって起こる。
- [○] 糖尿病は、リンパ球や食細胞の機能低下がみられ、感染症を起こしやすくなる。
- [×] 線維素性炎とは、多数の好中球が出現する炎症で、慢性炎症の一種である。
好中球がたくさん出てくるのは化膿性炎。膿がたまった状態を膿瘍という。
線維素性炎も膿瘍も急性炎症。
- [○] 2型糖尿病はインスリン抵抗性であり、中高年に多い。
- [×] 脂肪肉腫は、上皮性の悪性腫瘍である。 **脂肪にできる**
- [×] 扁平上皮癌は、上皮性の良性腫瘍である。 **悪性**
- [○] 大腸菌はグラム陰性桿菌である。
- [×] HIVが感染するのはCD8+Tリンパ球である。 **ヘルパーT細胞のCD4+に**
- [×] インフルエンザウイルスの感染経路は、空気感染である。 **飛沫**

炎 症	急 性	慢 性
期 間	短期間(日～週)	長期間(月～年)
発 症	急激	潜行性
湿潤細胞	好中球	マクロファージ リンパ球 形質細胞 線維芽細胞
血管変化	血管拡張 透過性亢進	血管新生
滲出、浮腫	+	—
発赤、腫脹、疼痛	+	—
線 維 化	—	+

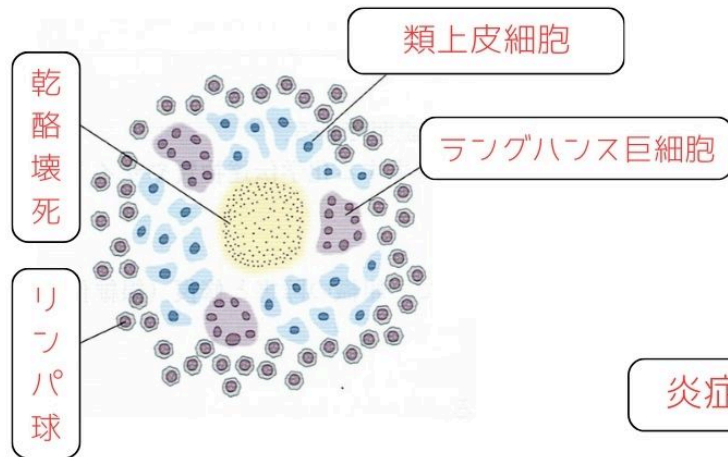
アレルギーの分類

I 型	アレルギー性鼻炎 (アナフィラキシーショック) ラテックス製手袋を着用直後に唇と手足のしびれが出現した
II 型	血小板減少性紫斑病(自己抗体による血小板破壊)
III 型	全身性エリテマトーデスSLEで見られる(ループス腎炎)
IV 型	(臓器移植時の拒絶反応)
V 型	(バセドウ病)

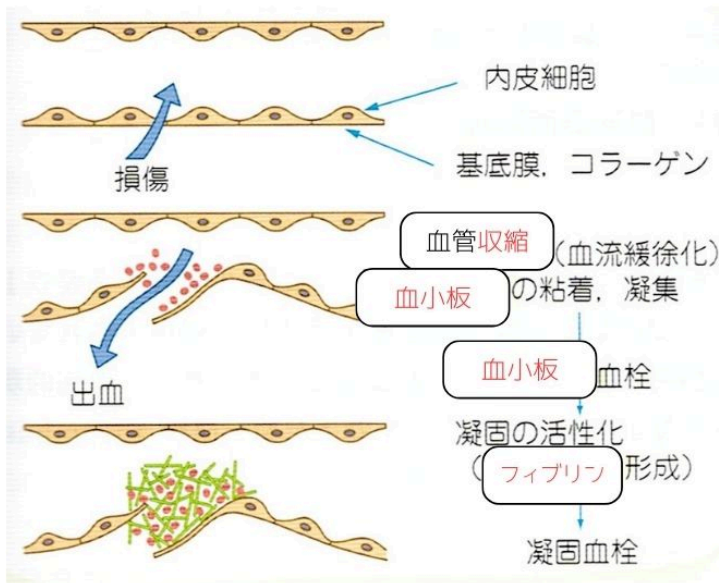
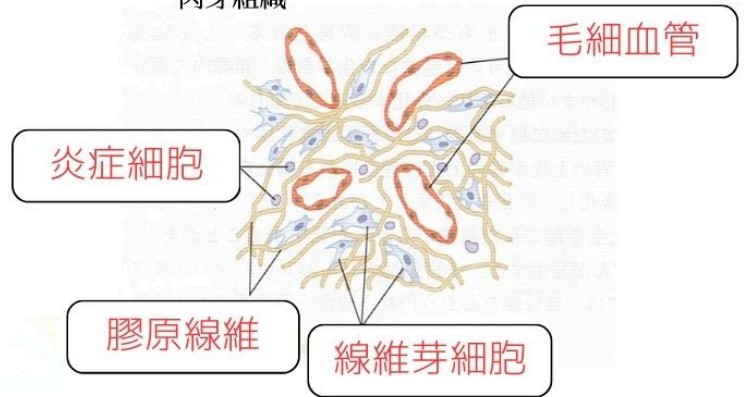
悪性腫瘍だけがとる形態



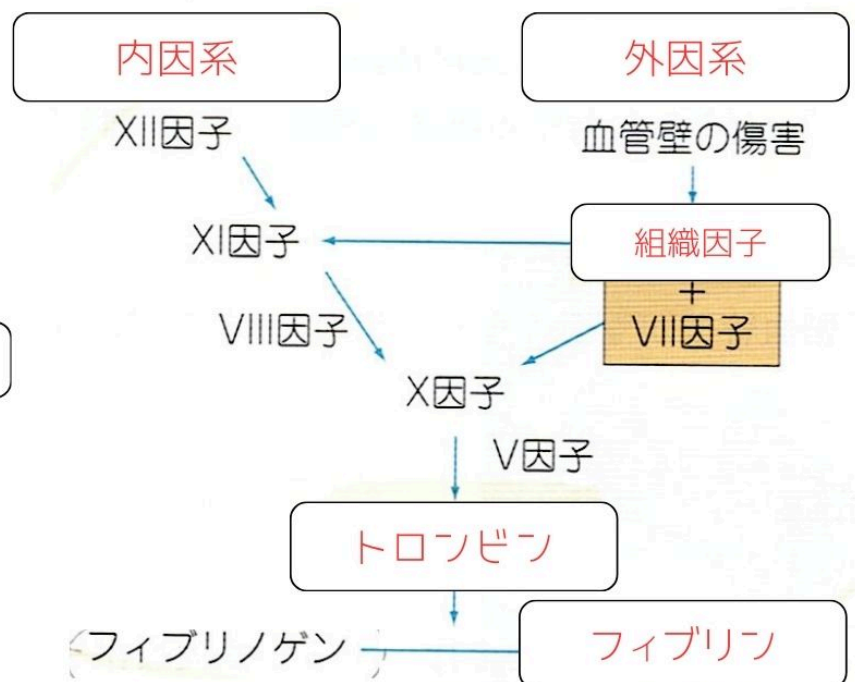
結核結節



肉芽組織



血液の凝固過程



出血の種類

